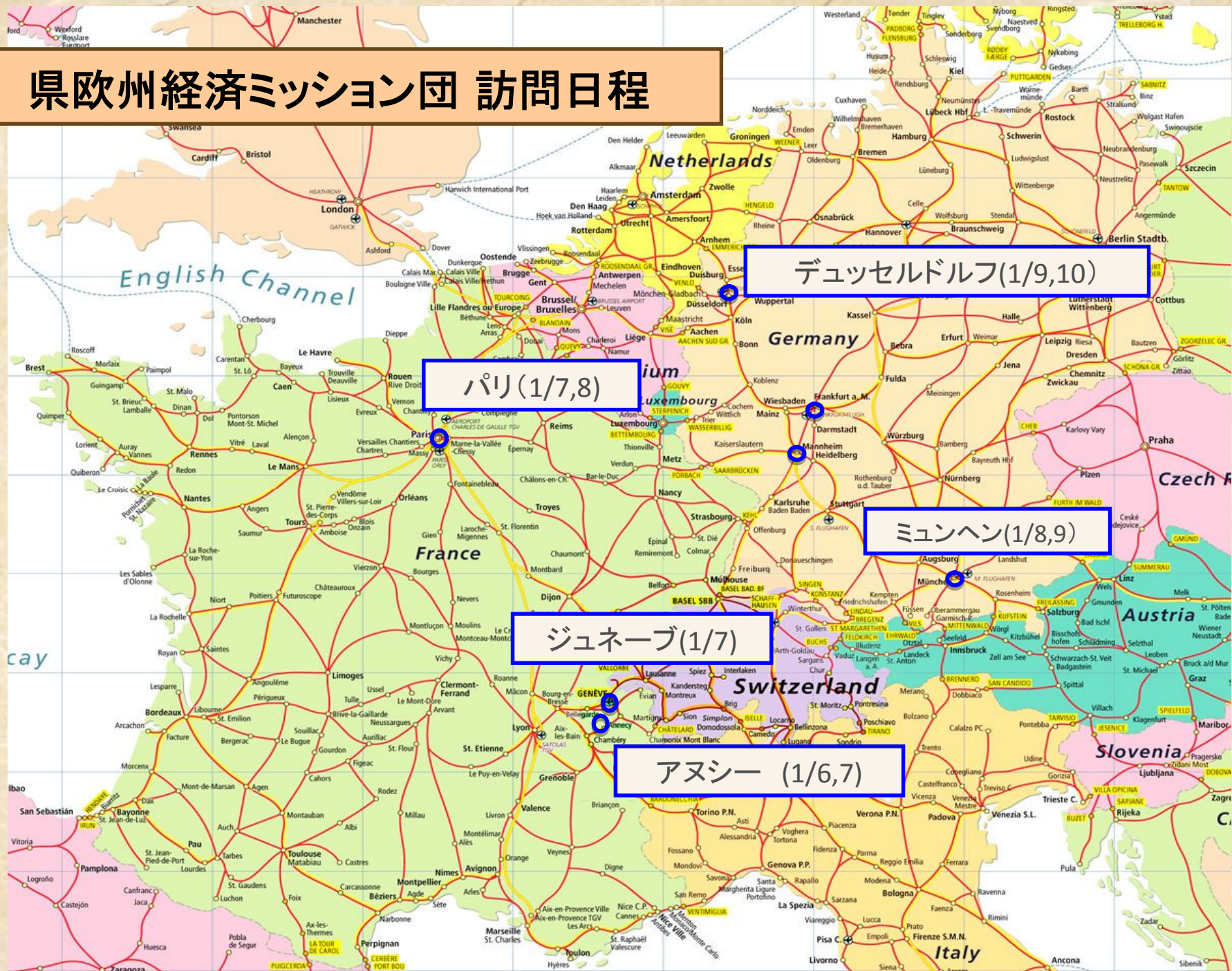


欧州経済ミッション概要

- 1 期間： 2012年1月6日(金)～9日(月)(企業団については11日まで)
- 2 訪問先：
フランス・アヌシー、スイス・ジュネーブ、フランス・パリ、ドイツ・ミュンヘン/デュッセルドルフ
(訪問順)
- 3 ミッションメンバー： 県内企業8社(化学、機械、金融関係等)、三重大学
- 4 スケジュール概要
 - ◇ 1月6日(金)： フランス・アヌシー市
 - NTN-SNRルルモン社訪問
 - アヌシー広域行政体等との協議
 - ◇ 1月7日(土)： スイス・ジュネーブ
 - CSEM社との協議
 - ◇ 1月8日(日)： フランス・パリ、及びドイツ・ミュンヘン
 - ジェトロパリ事務所との意見交換(パリ)
 - 野村バンク(ドイツ)社長との意見交換(ミュンヘン)
 - ◇ 1月9日(月)： ドイツ・ミュンヘン及びデュッセルドルフ
 - フラウンフォーファー研究機構(FhG)を訪問、三重大学とともに協力協定締結
 - NRW州政府訪問
 - ◇ 1月10日(火)： ドイツ・デュッセルドルフにおいて、GNIセミナーを開催

県欧州経済ミッション団 訪問日程



アヌシー広域行政体等と連携協定のリニューアルを協議



アヌシー広域行政体の代表であるアヌシー市のリゴール市長、フランス国民議会のアコワイエ議長、仏産業クラスター、産業支援機関等の関係者との協議で、両地域間連携の新たな取組方向を確認



確認された連携の方向性

- 1.国際的に成長市場である「環境・エネルギー関連分野」、アヌシー地域の強みである「メカトロニクス」、三重県の強みである「高度部材」などでの連携を検討し、両地域の「ものづくり産業」(MONODZUKURI)を振興していく。
- 2.豊かな自然や文化に恵まれた両地域において、「観光産業」についても連携を模索し、振興していく。
- 3.三重大学などの高等教育研究機関を新たに加え、グローバルな産学官連携にも取組んでいく。

CSEM社と連携協定のリニューアルを合意



マイクロエレクトロニクス分野の産業支援機関であるCSEM社、三重大学、三重県の3者間で、既存の協定^(注)のリニューアルに向けて、今後の方向性を協議し、相互確認書に署名



(注) CSEM社及び、三重県、津市、四日市市、(財)三重県産業支援センター間で合意された協定

合意された連携項目

1. 県内中小企業等のグローバルな視点に立った技術開発を支援し、県内中小企業等の海外(欧州)市場での事業展開に向けた取組を促進
2. 「環境・エネルギー関連分野」などでの具体的な技術連携を検討
3. 三重大学などの高等教育研究機関を新たに加え、グローバルな産学官連携を推進

また、スイスを中心とした産業クラスターと、当県の産業クラスターや中小企業群との交流についても、今後、協議を重ね、具体的な連携について模索していく予定。

フラウンホーファー研究機構と協力協定を締結



フラウンホーファー研究機構、三重大学、三重県の連携により、県内産業の振興を図っていく「相互協力に関する協定」を締結



相互協力協定の概要

1. フラウンホーファー研究機構、三重大学、三重県の間で、アカデミック及び産業レベルの技術・人事交流を通じてグローバルな産学官連携を推進
2. 三重県のクリーンエネルギーバレー構想(案)に関連する戦略立案や将来的なプロジェクトの構築
3. 三重県の産業競争力向上に向け、フラウンホーファー研究機構及び三重県内企業との共同技術開発を促進



NRW州経済・エネルギー・建設・住宅・交通省との協議

NRW州経済・エネルギー・建設・住宅・交通省ホルツェツキ一次官と面談。両地域のこれまでの経済交流を更に発展させ、今後、課題解決型産業としてグローバルな展開が期待される「環境・エネルギー関連分野」や、両地域の主要産業でもある「自動車分野」でも具体的な連携を模索するなど、両地域の産業振興における連携に関して協議。



GNIセミナー／産業交流会の開催

NRW 州の産業界に対して、三重県の産業・イノベーション概況や三重県への投資促進を目的とする県の魅力を発信。ミッション参加企業から事業概要を説明するとともに、商談や意見交換等を通じてNRW 州企業との連携の意向をアピールする等の交流が図られた。(デュッセルドルフ商工会議所との共催)

